

JRAT 活動報告書

平成 30 年 3 月

都道府県	大分	報告者	氏名 佐藤 友美	
団体名称/ 参加団体	大分災害リハビリテーション支援団体協議会（大分 JRAT）			
実施内容	<input type="checkbox"/> 組織化・連携の動き	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会実施	<input type="checkbox"/> 訓練等実施	<input type="checkbox"/> その他
実施日	平成 29 年 9 月 30 日	実施場所	大分県男女共同参画プラザ アイネス	
概要	<p>【平成 29 年度 大分 JRAT 災害リハビリテーション ベーシック研修】 災害リハビリテーション支援の基礎を学ぶことを目的とした研修を実施した。 座学のみでなく、実技演習を通して、他職種や所属の違う療法士が一つの目標に向けてチーム力を発揮する経験をし、災害リハ現場で臨機応変な対応ができる人材の育成を図った。計 3 時間の研修とした。</p> <p>講演1 「JRAT の概要と災害リハビリテーションの基礎知識」 講師: 日隈 武治 氏 大分 JRAT 災害リハコーディネーター 大分県作業療法協会副会長 司会: 大分県リハビリテーション支援センター 副運営部長 神田 真一</p> <p>講演2 「災害リハビリテーション支援と受援をどう実践するか」 講師: 近藤 国嗣 氏 JRAT 副代表/東京湾岸リハビリテーション病院 院長 司会: 大分県回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 会長 長岡 博志</p> <p>実技: 避難所で役立つ防災グッズを作ってみよう</p>			
所感	<p>基礎知識を整理した上で、実際の支援・受援現場で起こる事を追体験することで、その場に立ったときにすべきことのイメージづくりの機会となった。</p> <p>実技では、各グループでユニークな靴ができあがった。初めて会ったもの同士が年齢や職種を超えて共同作業を行う事で、参加者全体の一体感が生まれた。チーム大分として活動する機運の醸成にはとてもいい実技となったと感じている。</p>			
今後の課題	より実践的な実技、訓練の実施			
今後の活動予定	H30. 2 月にロジスティック研修を企画している。			